



▲浜比嘉島比嘉区での豊年祭の綱引き行事



▲浜比嘉島浜区での豊年祭のウステーク奉納と区民による舞台演舞

浜比嘉島豊年祭 行われる 7/19-20

浜比嘉島の浜、比嘉各自治会で豊年祭が開催されました。

豊年祭は、旧暦の6月24、25日にあたる日に子孫繁栄と住民の健康長寿を願って毎年行われているもの。

綱引きやウステーク奉納、住民総出による琉球舞踊など多彩な演目が披露され、2日間にわたり島中が祭りで賑わいました。

親子でカヌー体験 7/23



▲親子カヌー体験を楽しむ親子

宇堅ビーチで、親子カヌー教室が開催され、親子で楽しくカヌー体験をしました。

午前、午後の部に分かれて行われた教室には、市内から30組の親子が参加。B&G勝連海洋クラブ員からカヌーの漕ぎ方等の指導を受けた後、各親子がカヌーに乗り込み、右、左と互いに声をかけながら湾内を周回しました。すぐにコツを掴んでスイスイと海面を進む親子もいれば同じ場所をぐるぐる回ってしまい、うまく前へ進めず悪戦苦闘する親子などもありましたが、それぞれが楽しんでいました。カヌー教室に参加した花城麻侑さん（天願小4年）は「少し疲れたけど、お父さんと協力して漕ぐことが出来たので楽しかったです」と楽しく話しました。

みんなでかかわり素敵な作品できたよ 7/23



▲シーアートフェスティバルで最優秀賞に選ばれた屋慶名児童館チームと作品名「みんな仲良し」

砂の造形を楽しみながら、与那城のすばらしい海を体験しようと、第7回よなしろシーアートフェスティバル「砂の芸術大会」が海中道路ロードパークの干潟で開催されました。今年は12チーム、64人が参加。スコップやバケツを手にシーサーやアンパンマンなど思い思いの作品作りを楽しみました。

同実行委員会の審査の結果、ジュゴンと海の仲間たちが楽しそうに遊んでいる姿をかたどった屋慶名児童館仲良しチームの「みんな仲良し」が最優秀賞に選ばれました。



▲地域文化のハーリー大会をとおして、各地域の子どもたちが交流を行いました。円内写真は子どもたちによる力強い選手宣誓

第1回学生ハーリー大会開催 7/23

「第1回うるまカップ海中道路学生ハーリー大会」が、海中道路ロードパークで開催され、市内の小・中・高校生の子どもたちが多数参加しました。

うるま市では昔からハーリーが盛んで、夏になると各地域で海人たちの白熱したハーリー競漕を見ることができますが、今回のイベントは子どもたちがメイン。はじめて挑戦する子どもたちも多く、不慣れなカイさばきながらも、声を掛け合いながら一生懸命ゴールを目指していました。